

蓬萊町だより

日全部 30町化  
二月美文  
十七蓬  
四年者  
第七者  
第成行集  
平発編

蓬萊町界限（その二十六）

江戸の華と火消し（貳）

林 順 信

■火事場へゆっくりと行進

昔からの諺に「地震・雷・火事・おやじ」というのがあるが、平成の世になっても、地震はやはりトップの座を占めているが、雷とおやじは、現在からすると大してこわがられて居らず、第一位はやはり火事ということになるだろう。「災害は忘れた頃にやってくる」という諺も有名だが、昨今は地震は忘れないうちにやってくるし、江戸時代の火事はのべつ幕なしという形で頻発していた。

三代将軍の家光は、江戸城の修築、神君家康公を祀る日光東照宮の建立や、参勤交代の制度を確立して、諸大名の財政を圧迫した。

江戸の対価が起るたびごとに、三百諸侯といわれた、大名の屋敷の幾つかは必らずといてよい程消失した。各藩の出費もさることながら、幕府方においても、各藩に見舞金を出さなければならなかった。

家光の在世中の寛永十年と十八年に火災が起きて、出費がかさんで懲りた家光は、そこで、六万石以下の十六の藩を一番から四番までに編成して消火の役を命じた。

「大名火消」といわれた制度である。一組の定員は四百二十名というから、さきの「奉書火消」からくらべれば格段の進歩だったか……。

大名火消は物々しい火事場装束に身を固め、威風堂々たるものだった。庶民の家屋が火を出しても出動はしないで、武家屋敷の火事にだけ出向いた。彼等はまた、戦国時代の武勲とかなり違っていて、半ばデモンストレーション的なところがあった。

火事場へ向かうにも、一瞬を争う筈なのに、悠々と行列を組んで出向いた。

「あまり急ぐと、人足共が疲れて、いざ火事場に着いても十分に活動できない」というのである。

当時の消火法は破壊消防というもので、燃えている家はそのまま放って置いて、風下の周囲の家々を、長鳶口や、さす又、掛矢で打ち壊し、屋根に上がって、火の粉を払い落とすというやり方であった。防火用の天水桶や溜められた水は、消火に当たっている人足にかけてやるために使われたという、今考えると不思議な消火法だった。

■浅野のお殿様は「押しつぶし消火法」

こんなのんびりした大名火消の中にも傑物があった。忠臣蔵で知られた浅野内匠頭長矩の祖父の浅野長直である。

この殿様は火事と聞くと率先して現場に駆けつけ、猛火の中で陣頭指揮した。

「浅野様が来たぞ」と聞くと、家財道具を持ち出そうとしていた人達は、持ち出すのを止めたいといわれる位信頼があった。

浅野長直のやり方は、燃えている家の屋敷の上は何十人もの人足を登らせる一方で、家の梁や柱を鋸で切らせ、屋根の上の人足の重量で押しつぶしてしまおうという独特の消火法で功をおさめたという。

しかし、小さな火事ならいざ知らず、同時多発的な火災や、規模が大きくなってしまったら、この「押しつぶし消火法」では果たしてどこまで通用したかは疑問である。

ところで、赤穂四十七士の討入の服装は大名火消の装束だった。徒党を組んで江戸の町中を歩けるのは大名火消抱だけだったからである。大石内蔵助の周到な考え方からであった。

時代は明暦へと移ると、江戸、東京の歴史上最大の振袖火事が起こり、やっと、江戸の都市計画と、更に「定火消」と「火付盗賊改め」の制度が考え出された。

町会活動の概要

平成7年3月下旬から

平成7年7月中旬まで

総務部

3/20 4月5日にオープンが予定される向丘

高齢者在宅サービス

会場「シルバーピア向丘」集会所の町会役員  
会利用について、上千駄木町会と利用方法、  
日程等の協議を行う。

4/1 町会役員の一部交代に着いて、

南部 旧 山中幸雄様 新 宮下祐三様

北部 旧 松本勝雄様 新 中川三郎様

4/10 駒本小学校、入学式 新入学児童数24  
名でした。

4/14 根津神社「第26回つつじ祭り」本日  
開苑、5/5、まで苑22日間

大勢の参観者の称賛と感嘆を受けつつ無事に  
終了しました。

4/16 つつじ祭り境内案内と警備担当日（追  
分、蓬菜、東追分）

5/12 本月の役員会から「シルバーピア向  
丘」を利用開始。

6/17 蓬菜町会平成7年度定期総会を開催し  
ました。

平成6年度決算書並びに平成7年度予算書は  
本誌頁末に掲載にございます、宜しくご  
高覧願います。

本年度の総会を期に長らく青年部の重責を担  
って来られた次の方々が青年部の活動を新進  
気鋭の若い方に委譲し、今後は町会役員とし  
て活動をして戴く事になりました、新役員の  
氏名は左記の通りです、どうぞ宜しくお願  
い致します。

記

池田秀男様 倉田幸一様 小林一雄様

五十嵐日出男様 竹中俊之様

6/29 第26回、つつじ祭り委員会総会開催さ

れる。

6/30 地下鉄工事三者協議会総会が開催され  
る。

お願

来る10月1日には国勢調査行われます、当町  
には町会役員が調査員を委託されて調査に伺  
いますので、どうぞご協力下さい。

### 防火防災部

4/20 本郷防火協会理事会

4/28 消防関係5団体。総会

6/4〜10まで「危険物取扱安全週間」が実施  
される。

6/25本郷消防団、消防実技公開が東大構内で  
行われる。

### 防犯部

4/10 駒込警察署にて「防犯支部長会議」が  
開催されました。この会議は各町会の防犯責  
任者を集め開催、議題は地下鉄サリン事件に  
端を発する今後の不穏な事件に対する自衛の  
手段や対策について話し合われました。

今日段階に至るも未だに不安は完全には解消  
されていません、身近に不審を感じたら警察  
にまず連絡をしましょう。

4/29 駒込警察署主催、「自転車教室」九中  
校庭で開催される。

### 交通部

5/11〜21 「春の交通安全運動」旬間が実施  
されました。

自動車やバイクは私達の日常の足替りと言う  
感覚から違和感が無いのが普通ですが、ドラ  
イバーでも歩行者でも無謀な行為に走れば一  
生悔いの残る事故もある、注意が肝心です。

運動期間中は交通部、婦人部、友の会、の皆  
さんが街頭に立って交通安全の啓蒙に努めて  
いただきました。

5/26 交通安全協会総会が開催されました。

### 衛生部

4/25 防疫用殺虫薬剤（乳剤）が区役所保健  
課から配布される。

サリン事件等世情が不穏な時期ですので、手  
数が掛かりますが回覧によって配布を望まれ  
る方を確認し、地域役員を通じてお渡しを致  
しました。

5/25 本郷保健所伝染病予防委員会、総会が  
開催されました。

### 文化部

4/20 蓬菜だより「第41号」発行

お願

恒例「町内盆おどり大会」を来る8月20日  
（日）21日（月）の2日間、大観音境内に於  
いて色々のイベントを交え、お子様達にも楽  
しく遊んで貰える企画を立て鋭意準備中  
です。

町内の皆様、是非、夕涼みがてら気楽にお出  
掛け下さい。

青年部

5/8 向丘青年対策協議会、総会が開催されました。

7/23 「工作教室」大観音境内にて開催いたしました。

婦人部

5/24 「日赤募金」本日、募金会に納めました。募金につきましては、町内皆様方からご厚志を頂戴し誠に有難うございます、納付金額は左記の通りです。

10月の赤い羽根募金、12月の歳末助け合いとございますが今後も引き続きご支援をよろしくお願い申し上げます。

記

一金 一九六、五〇〇円 (263件)

6/23 向丘地区町会連合会婦人部研修会がありました。

計報

池田治博様、田中良彰様(昨年2/18逝去)、坂本憲一様

青年部の活動をふりかえって

倉田幸一

弥生三月も間近の二月最後の日曜日。

空は青く晴れわたり、吹く風さえも心なしか春の気配の穏やかさ。今日は絶好の餅つき日和。前日の冷たい雨が嘘のようです。それにしても、あの寒い雨降りにもかかわらず、冷たい水でお米をとき、手際よく準備を下さった婦人部の方々には、頭のさがる思いです。町会役員の皆様のご厚情に感謝しつつ、賑やかな歓声とともに、おいしいお餅が次々とつきあがっていきます……。

ふと、ふりかえれば早いもので、当町会に青年部ができて、二十年近くになります。初代青年部長は、大林寺ご住職の佐々木さん。その後をひき継いだ歴代の部長さんや諸先輩、部員の方々のご尽力で、今では町会・婦人部・青年部が一体となり、いくつかの年間行事を開催しています。花より団子の「春のお餅つき」これで宿題はバッチリと思わずニンマリ。「夏休み工作広場」太鼓やお囃子についてられ、踊らにゃソソソンの「納涼盆踊り」終わった後の熱帯が、妙においしい「年末夜警」。

このようなイベントばかりではなく、先日の阪神大震災等を見るにつけ、有事に於ける地元住民の一致協力がとても大切な事だと、痛感致しました。小さな事から良いのです。町会活動も、ボランティアのようなもの。脱会社人間

を目指すお父さん、休日にお子さん連れでは是非参加して下さい。これも立派な体験学習と言えるのではないのでしょうか。

「自分たちの町は、自分たちで守り、育てて行くもの。」住み良い町づくりも皆様方の初めの一歩からです……。

あんなに蒸した餅米も、この一白でもうおしまい。随分たくさんついたものです。自称青年部、実体は中年部の我々には明日の筋肉痛が思いやられるお餅つきの日でした。

編集後記

永い梅雨の季節もやっと明けてこれから盛夏の本番を迎えますが、会員の皆様はいかがお過ごしですか、本年は1月の阪神大地震発生から被災地域の一日も早い復興が皆さんの合言葉でしたが、3月には不穏な事件が起き、今もって事件が尾を引き不安定な時世ですが、この上、冷夏などと言う悪い予報も出て気の滅入る事ばかりです、せめて本年のこれからは不調な景気の回復と安心して日々暮らせる世の中に戻る事を願って、8月には町会の皆さんと「盆おどり大会」を賑やかに催して戴けるようにどうぞご協力願います。

編集委員

小林音吉、竹中一馬、川西正造、猪熊良晃、池田

平成6年度決算報告書

決算期間 平成6年4月1日から平成7年3月31日まで

単位・円

収入の部			支出の部		
勘定科目	金額	摘要	勘定科目	金額	摘要
前期繰越金	217,638	区より	総会費	190,242	
町会費	1,635,800		会議費	77,243	
補助金	164,025		渉外費	197,706	団体分担金
寄付金	97,000		備品費	69,000	備品購入
雑収入	91,971		事務費	63,295	事務付帯費
銀行利息	532		信交通費	131,920	
			電灯費	31,492	街頭電力費
			総務部費	63,603	部活研修
			防火防災部費	33,140	"
			防犯部費	30,295	"
			交通部費	10,000	"
			衛生部費	0	"
			文化部費	136,682	"
			婦人部費	172,150	"
			青年部費	298,879	"
			慶弔費	65,000	祝金、香典
			消耗品費	45,197	事務用品等
			防災積立金	200,000	
			特別行事準備金	200,000	
			次年度繰越金	191,122	
合計	2,206,966		合計	2,206,966	

平成6年度の収支決算について上記の通り報告いたします。

平成7年6月17日

町会長 小林 音吉

会計 川西 正造

☆監査結果：監査にあたり収支に関する帳簿の記載、伝票の保存等を細部に亘り厳密に監査を行いました。が、いずれも正確に処理されている事を認めます。

監事 竹中 一馬

◇平成6年度末に於ける防災積立金総額は、¥2,566,422円です。

◇平成6年度末に於ける特別行事準備金（積立方式）総額¥400,251円です。

平成6年度予算計画書

予算執行期間 平成7年4月1日から平成8年3月31日まで

単位：円

収入の部			支出の部		
勘定科目	金額	摘要	勘定科目	金額	摘要
前期繰越金	191,122	前年繰越分	総会費	190,000	
町会費	1,600,000		会議費	80,000	
補助金	164,025	区から支給	渉外費	250,000	各種団体会費
寄付金	60,000		備品費	120,000	備品購入修理
雑収入	60,000		事務費	80,000	事務付帯経費
銀行利息	500	銀行利息	信交通費	130,000	
			電灯費	50,000	街頭電灯費
			総務部費	80,000	部活動、研修
			防火防災部費	80,000	"
			防犯部費	70,000	"
			交通部費	80,000	"
			衛生部費	10,000	"
			文化部費	400,000	"
			婦人部費	200,000	"
			青年部費	120,000	"
			慶弔費	80,000	祝品、香典等
			消耗品費	50,000	事務用品等
			予備費	5,647	
合計	2,075,647		合計	2,075,647	

平成7年度の予算計画（案）を上記の通り計上いたしました。

平成7年6月17日

蓬萊町会 会員各位

蓬萊町会